



細やかに大胆に

校長 岩田 明正

暑さ、寒さも彼岸までといいますが、4連休を過ぎてから急に涼しくなった
というか、寒くなったというか、ちょっと極端な感じがするくらいですね。

この気候、実は夏休み明けから今にいたるまで、熱中症対策に追われていた
ことからすると、少しホッとできるようになったなとありがたく思っています。

感染症対策、熱中症対策という命にかかわるような大きなことを2つ抱え、
その一方の重さが少し軽くなったことで安心感が増したように感じているの
ですが、それが油断につながらないように気をつけねばと、自分自身にも、教
職員にも呼びかけています。なぜなら、アクシデントは忘れたところにやってく
る。油断をしていると、重大な事件、事故につながってしまうことがあるから
です。そうならないように今一度気を引き締めてまいります。

さて、お話は変わりますが、10月は前期と後期の境目。9日で前期が終了
し、12日から後期が始まります。本来でしたらここで「あゆみ」が子どもた
ちに手渡され、前期のまとめをし、後期への頑張りにつなげていく時期ですが、
今年度は始まりが約3か月遅れたこともあり、先にもお知らせしたように、本
校では「あゆみ」は12月、冬休み前にお渡しすることにしました。

また、感染症の影響で毎年行っている行事の多くも変更になっています。前
期ではほとんど行われなかった行事が後期に集中して行われます。

今現在、他校と交流がある行事はすべて中止になる予定ですが、授業参観、
校外学習、宿泊学習、運動会、マイコンサートなどは可能な限り後期に実施す
る計画でいます。

この時期に行事を実施して大丈夫なのか？というお声もあるかもしれませ
んが、舞岡小学校としては今まで様々なことを我慢してきた子どもたち、保護
者の皆様のお気持ちを考え、形や規模は変わっても可能な限り例年通りの行事
を行いたいと思っています。

その思いの背景には次のような考えがあります。

新型コロナウイルス感染症は確かに恐ろしいのです。報道等を見ても、完全な対抗策
はないようです。専門家の方々も、いまだにその正体の全貌を掴んでいるよう
には思えません。とすれば、どのような対策を取るべきか。それはどの専門家
も共通して言っている「消毒」「換気」「マスク着用」「密を防ぐ」「手洗い、う
がいの励行」「日々の健康観察」を徹底することです。そうすれば感染防止に十
分な効果が得られる、だいたいの行事実施は可能なはず、と結論付けました。

対策を細やかに講じて、大胆に行事を行う。この方向性を「舞岡小コンセ
プト」とでも言っておきましょう。

さて、今後このコンセプトに沿った計画は、対策をしっかり行ったうえで実
現していきますが、各ご家庭でも感染症対策を行っていただくことが前提とな
っております。また、保護者の方の参加人数を制限するなど、ご協力いただく
こともたくさんあります。詳細は今後発行される各お知らせをご参照いただき
ますが、できる限りの活動を実施するために、今しばらくのご辛抱とご理解を
お願いいたします。

9月 各学年の活動の様子

1年生「いきものとなかよし」

生活科「いきものとなかよし」では、鶏と触れ合いました。

初めは少し怖がっていた児童も、友達が触ったり抱きかかえたりする様子を見て、チャレンジする姿が見られました。「触るとふわふわしている。」「あったかくて気持ちいい。」などの感想をもち、生き物の命を感じていました。



2年生「小さななかまたち」

生活科「小さななかまたち」では、じゃぶ池や校庭、舞岡川で捕まえた生き物のお世話をしました。

育てていく中で疑問に感じたことを、図書室の本で調べたり、家で調べたり、生き物に合った世話の仕方をさまざま工夫していました。世話がうまくいかなかったときには、何がいけなかったのかを振り返り、翌週からの世話に生かしている様子が見られました。



3年生「風とゴムの力のはたらき」

「先生！15mも走りましたよ。」「太いゴムにしたら、ぜんぜん進む距離が違いました。」

初めて行った理科の実験。暑さに負けずに、ゴムと風の力のはたらきの実験をしました。自分で組み立てた車だけに、愛着が湧いてくるようです。

算数で習った巻き尺の使い方にも慣れてきました。測り間違いがないように、協力して結果をノートに書いていました。



4年生 保健「育ちゆく体とわたし」

保健「育ちゆく体とわたし」では、思春期を迎えると体や心が大人になっていくことを学びました。体の中で起こる変化の学習では、助産師である高野さんをお招きし、男の子の体や女の子の体の中には、命のもとが入っていることを教えていただきました。「体や心が大人に近づいてい来ると知って不安だったけど、話を聞いて少し安心できました。」「赤ちゃんが産まれてくる仕組みを知り、驚きました。」実際に命に向



き合う助産師さんの話を伺い、たくさんの感想をもつことができました。

5年生「ふれあいコンサート」

9月17日に「心の教育ふれあいコンサート」に行きました。今年初めての校外学習、みんなで行くみなとみらい、立派なホールでの本格的なオーケストラの演奏。5年生みんなが、ドキドキわくわくしながら当日を楽しみにしていました。コンサートでは7曲の演奏を聴きました。聴き覚えのある有名な曲が多く、どの子も体を揺らし、身を乗り出しながら聞き入っていました。素晴らしいパイプオルガンに驚いたり、アンコール曲で11校の5年生全員で手拍子し気持ちを一つにしたりと、心に残る素晴らしい経験となりました。



6年生「なかよしマイ活動」

今年度はじめての「なかよし遊び」がありました。たてわりのグループで集まり、6年生が企画したゲームをみんなで楽しむ時間です。1年生から5年生までみんなが楽しむにはどんな遊びがいいか意見を出したり、当日スムーズに会が進むように準備をしたり…。計画を進める中で、これまでの6年生の苦労やすごさを感じたようです。当日は、大きな声で説明したり下級生を気遣う話し方をしたりと、頼もしい姿が見られました。



個別支援級「しおりづくり」

図工の時間でしおりを作りました。絵本や文庫本など、自分がよく読む本の大きさに合わせて、ハートや星などの形をかき、好きな絵を描いたり色をぬったりしました。出来上がりを見て子どもたちは大喜び。世界に一つだけのしおりを見て、お気に入りのようでした。



毎週の図書の時間を楽しみにしている子どもが多く、手作りしおりを持って図書室に向かう姿が見られました。

専任より

秋の虫が鳴き、涼しい風が吹き、随分と秋らしくなってきました。気持ちよい季節ではありますが、夏の疲れが出る頃でもあります。学校とご家庭で、子どもたちの心身の様子をしっかりと見て、学校生活を生き生きと送れるようにしたいです。

“専任”という仕事ですが、正しくは“児童支援専任”と言います。子どもたちを助けることを任されている仕事ということですが、子どもたちには「全クラスの担任だよ。」と伝えていきます。困ったときはもちろん、困っていないときにも担任と同じように、子どもたちが構えることなく話せる大人でいたいと思っていますので、保護者の方も同じように感じていただければと思います。子どもだけでなく、大人も心身の健康を大切にして季節の変わり目を乗り切りたいですね。